

文 献：中 国 の 文 字 改 革

以下は文字改革出版社刊を主とした単行本。

- ①「普通話練習手冊」(73・7・文改)
普通話による教育を行なう教師用ハンドブック。
- ②「小学漢語拼音教学問答」(73・11・文改)
問答形式をかりて拼音の教え方を紹介する。
- ③「文字必須改革」(74・1・文改)
『人民日報』『光明日報』の主要記事の転載。
- ④「魯迅論文字改革」(同, 文改)
大衆語文と文字改革についての八篇の文章。
- ⑤「漢語拼音広播講座」(74・3・文改)
3月15日からの放送用テキスト。
- ⑥魯迅「門外文談」(74・5・人民出版社)附注
1936年作だが今日的意義をもつ論を展開する。
- ⑦「做文字改革的促進派」(74・9・北京人民出版社)
漢字簡化, 普通話, 漢語拼音に関する26篇。
- ⑧「工農兵談文字改革」(同, 文改)
各自の体験から文字改革を述べた13篇。
- ⑨「深入批林批孔 促進文字改革」(同, 文改)
儒教などの誤った文字観への批判など12篇。
- ⑩「漢語拼音読物(1)」(同, 文改)
活頁形式。「歴代労働人民的反孔闘争」の拼音版
- ⑪「漢字的整理和簡化」(74・10・文改)
特に漢字の簡化に関する18篇。
- ⑫拼音兒童讀物「柳下跖痛罵孔老二」(74・11・文改)
連環画形式のよみ物。
- ⑬「漢語拼音『中華人民共和國地圖』地名索引」
(74・12・地圖出版社) 3800余の地名を収める。
- ⑭「堅持改革 勇于实践」(75・5・上海人民出版社)
漢語拼音基本式教学試験工作紹介という副題。
- ⑮「工農兵是文字改革的主力軍」(75・5・文改)
実際の現場からの, 漢字簡化などの報告, 10篇。
- ⑯「学校怎樣推广普通話和教学漢語拼音」(同)
山西省万栄県など各地の実践報告, 17篇。
- ⑰「学習魯迅 改革漢字」(75・5・文改)
魯迅の言語文字論に学んだこと, 7篇。
- ⑱「漢語拼音読物(2)」(75・5・文改)
張明観の「一只大衣套」
- ⑲「漢語拼音読物(3)」(75・5・文改)
上山下郷知識青年の文章2篇の拼音版。
- ⑳「漢語拼音読物(4)」(75・5・文改)
革命兒歌10首(北京西四北小学紅小兵詩歌選)
- ㉑「語文教学譜新章」(75・9・上海人民出版社)
勞農兵講師の語文教学活動記録。
- ㉒「中華人民共和國憲法」(75・10・文改)
(漢語拼音・漢字対照)
- ㉓「周恩来 政治工作報告」(75・10・文改)
(漢語拼音・漢字対照)
- ㉔「中国人名地名漢語拼音拼写法」(75・10・文改)
74年5月制定の拼写法などを集めた資料集。
- ㉕「評法批儒文選——兩種不同的文字観」
(76・1・文改) 秦始皇の文字統一の評価など13篇。
- ㉖「漢語拼音読物(5)」(76・1・文改)
『水滸』批判に関する『人民日報』社説。
- ㉗「漢語拼音基本式教学」(76・2・中国文字改革
委員会推广組編・人民教育出版社)
中小学校の語文教学改革の経験報告集。
- ㉘「推广注音識字 搞好業余教育」(76・3・文改)
農村で進められている注音識字運動の記事。
- ㉙「積極推广普通話」(76・4・文改)
江蘇省呉県など各地の普通話普及を伝える。
- ㉚「中国人名地名拼写規範化問題」(76・4・文改)
㉔の続篇, 各方面から規範化の意義を考える。
- ㉛「漢語拼音読物(6)」(76・4・文改)
農業は大寨に学ぶ全国会議席上での演説。
- ㉜「小学語文教学改革实践」(76・7・上海市閘北区
教師紅專学院編・上海人民出版社)

- ③③「漢字簡化是当前文字改革的重要步驟」
(76・10 文改) ①①の続篇, 20篇。
- ③④「歡樂的海」(76・10・文改)
浩然の同名作品の漢語拼音版。
- ③⑤「反復実践 不斷革新」(76・11上海人民出版社)
漢語拼音基本式教學經驗選編の副題。
- ③⑥「矛盾論」(76・11・文改)
毛沢東の同名論文の注音本。
- ③⑦「關於正確處理人民內部矛盾的問题」
(76・11文改) 毛沢東の同名論文の注音本。
- ③⑧「漢語拼音教學廣播講稿」(76・12・文改)
⑤の改訂版。卷末に付録。
- ③⑨「中国社会各階級的分析」(77・2・文改)
毛沢東の同名論文の注音本。
- ④①「漢語拼音中国地名手冊」(77・7 測繪出版社)
3400余りの地名を拼音配列し英文と対照させる。
- ④②「漢語拼音中国常見地名表」(77・7 測繪出版社)
700余りの地名を、漢・英・法・西を対照させる。
- ④③「少数民族語地名漢語拼音字母音訳転写法」
(77・7・測繪出版社) 1976年6月制定。
- ④④「實踐論」(77・7・文改)
毛沢東の同名論文の注音本。
- ④⑤「繼承毛主席遺志 做好文字改革工作」
(77・8・文改) 76年10月ころの記事, 12篇。
- ④⑥「簡化字総表(第二版)」(77・12・文改)
第二次漢字簡化方案(草案)第一表を付す。
- ④⑦周恩来「当前文字改革的任務」(77・12・人民出版社)
瞿秋白に関する記述がこの版では抜けている。
- ④⑧「簡化字総表(第二版)」(78・3・三联書店)
「草案」全体を載せる。
- ④⑨「敬愛的周總理率領我們戰鬥」(78・5 文改)
(漢字拼音, 漢字対照) 6篇の追悼記号。なお
拼音には声調記号がついていない。

中国の文字改革については、日本の中国語の概説書は必ずと言っていいほど言及しているが、単行本となると数が少ない。その主なものは、

『漢字の運命』倉石武四郎・岩波新書

1952年初版, 66年に増改訂。漢字改革の必然性を歴史に考える。

『漢字の歴史』香坂順一・イズミオキナガ

江南書院, 1958年。漢字のはじまりから説きおこし, 図版・資料が豊富。

『中国の文字改革』さねとうけいしゅう

くろしお出版。1958年初版, 71年増補版。

周報告, 魯迅と漢字改革などが加わる。

『北京大学二年』香坂順一, 龍溪書舎

1976年。教育改革などとともに70年代の文字改革が進められてゆく状況を伝える。

以上の単行本の他に、文字改革を特集した主な雑誌を挙げると、

『中国語』大修館書店

1975年12月 現代中国の文字

1978年1月 中国の文字と日本の漢字

1978年8月 中国の簡化字——簡化字入門

『言語』大修館書店

1973年3月 文字をめぐる

1974年8月 中国語をめぐる

『言語生活』筑摩書房

1960年7月 文字の役割

1966年2月 世界の文字問題

1972年6月 中国人の言語生活

1975年6月 現代漢字の機能

(大塚編)